

マス塾新報

島マス記念塾
事務局担当集
無責任編集
Tel.937-3385
MASU@OKICITY
SHAKYO.COM



読谷村のコミュニティビジネス

連携することで生み出される特産品とは?

親川善一先生によるフィールドワークⅡ

▼今回FWで現在読谷で活動している方々の活気溢れふる人達の講話を聴けと勉強になりました。今沖縄市に何が足りないのか、今後21期として何ができるか、考えて小さなコミュニティから変わればと思っています。(道憲)

▼FM読谷社長の講話が良かったです。仲宗根さんの熱い気持ちに響いて、話しを聞いて泣きそうになりました。またバス社内でのツアーガイドンス親川さんの話しが解りやすく面白く大満足のフィールドワークでした。終了後の



▼グルメツアーかと思うほどの、特産品の数々に感動しました。地域を見つめ、そこに埋まっている宝物を掘り起こすことで、こんなにも産業が活発になるのか!と驚かされました。作り手が誇りを持てるように、知恵を絞れる人間を育てていかなければならないと思いました。(あすか)

▼漁協やゆんた市場で実際に生産・販売の現場を回って見られて現場の人の話が聞けてとても参考になりました。FMよみたんでも仕事に対する熱を感じました。もっとたくさん話の伺いたいと思いました。本当によかったです!(希望)

▼今回のFWの着眼点は。案内して下さった親川善一氏がよく口にしていた『連携』という言葉だった。都屋漁港では山内さん、むら咲むらでは国吉社長、FMよみたんでは



▼地域の資源や施設、特性を

BBQもカラオケも超サイコーでした。ありがとうございます(大祐)

▼漁協のイカスミ汁と魚汁がアジクターでおいしかった。それぞれの地域の歴史を知ることが大切だと実感できました。講師・案内をしていたいた親川さん、山内さん、国吉さん、仲宗根さん、バスの運転をしていたいただいた20期生の荻堂さん、ニフェーデービタン。(丈也)

▼FW凄く楽しかったです。色々な所を回ってみてコミュニティビジネスは、それぞれの得意分野を上手く活かしてみんなで力を合わせていくんだと思いました。他の職種や会社と関わっていくのは難しさもあると思いますが、『地域の為に』という共通の思いがあれば手を取り合う事が出来るんですね。あと、地域のカラーが凄く出ていたので温かさも感じました。(舞子)

▼今回のFWを前回の講義からとても楽しみにしていました。実際参加して現地視察もでき、美味しいご飯も食べられて、代表取締役の方々からの貴重なお話も聞けてとてもいい経験が出来ました。近いうちに、ジンベイザメ会いに来た読谷漁港に行きたいです。(倫美)

▼コミュニティビジネスは、古くて新しい手法だと感じた。かつて奥の共同売店が必要とされて栄えたように、今でも必要とされる分野ではある。あとは、いかにお金の回る仕組みを取り入れるかということになるのだろうが、それは経営者の手腕にかかってくる。それぞれの人が、人とのつながりについて語っていたのが印象的だった。(寛)

▼仲宗根社長の話を聞いて感じたのは、仲間にこうしたいから協力してくれと説得して巻き込み、また、関連業者も巻き込み、行政までも巻き込んでいく。賛同してくれる人を多く作り、繋がりを作っていく。一本の線が多くなれば面になる。それより強い味方はいない事だろうと感じました。その中で『連携』が出来て、強い会社になるのだと思えました。もちろん経営理念や目的、目標がなければ会社は成り立つ事はありませんが。物事を考える。視野を広げ、この社会で何が必要で、何が問題かと常日頃から考える力も養わなければいけない事も改めて思いました。最後にイカ汁美味しかったです。(恵祐)



活かした地域おこしの例を見る事ができてすごく良かったです。これからの沖繩の観光においても、各地域でコミュニティビジネスが活性化したら、もっと面白い沖繩になると感じました。また、今回出会った方々の活力に感動しました。ありがとうございました。(祥子)

▼駆け足で読谷村の視察を行いました。1日でそれができるというのも読谷村の特徴だろう。今回行けなかった所にもたくさんさんのコミュニティビジネスの見本がある。「困った」からスタートしている所も多く、そこにビジネスのチャンスがあるのだろうと思う。また、地域の住民が中心となることで「困った」が「なんとかしない」という奮起にもつな

がるのだと思う。成功した事業についても後継者の育成もしており抜け目ないなと思つた。ビジネスと相性が悪いといわれる福祉の分野でもコミュニティビジネスを実現してみたいなと思う。(清史)

▼現場で感じたことは、どの現場もすぐには形にならず、10年がかりの目線で育てていかなければならないんだという事。連携や理想を描いて動きだす情熱と、粘り強さ、その都度次の発展に向けて見直す大切さなどを感じた。日々の歩みは遅々として華々しくなくとも、焦らず、でも確実に未来を見据えた取り組みが大切だと感じた。世代や人材が入れ替わるなか、創設時の意志を維持しながら、かつ必要な変化を加えることの困難さも考えさせられた(久美子)

▼当日は集合時間の勘違いで皆様にご心配とご迷惑をおかけした事を深く反省しています。途中からの参加でしたが、初めて行ったむら咲きむらはもっと早めに行けば、父と母を連れて来れたのに…。と少し後悔しました。沖繩には近くていいところが沢山あるから、と人々と一緒に行けたらと思います。(好美)

▼FWで訪問したさきに、また足を運びたい魅力がありました。実際に、その場の空気も感じながら、沖繩市ではどの様な事が出来るのか取り組みたいですね。(豪夫)

▼実際にコミュニティビジネスを展開されている所や展開している方のお話を直接聴くことが出来き、コミュニティビジネスとはどういうことなのか、仕組みを事例を見ながら学ぶことが出来てとても刺激的な一日でした。地域のひとと人が繋がり、協力し合い、支え合っている、それぞれの強みを生かし合うことがコミュニティビジネスの根本なのだと感じました。この視点を胸に今後の活動に活かしていきたいと思えます。(真弥)



FW終了後の BBQパーティー



BBQはもちろん！スカットボール世界大会（写真左上）でも盛り上がりました！